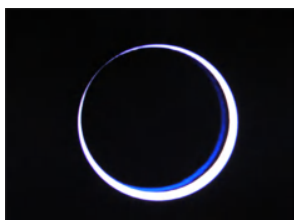


比叡山ドライブウェイでみる「金環日食」



2012年5月21日に、日本で「金環日食」が起こります。全国で部分日食を見ることができるほか、九州地方南部、四国地方南部、近畿地方南部、中部地方南部、関東地方など広範囲で金環日食を見ることができます。

比叡山ドライブウェイのある滋賀県大津市では5月21日の午前7時30分頃が「食の最大」のピーク。ドライブウェイは朝7時から営業しておりますので、天候さえ良ければ※173年ぶりの天体ショー「金環日食」を見る事ができます。

お勧めスポットは、田の谷ゲート入口から2kmの夢見が丘、3.3kmの登仙台駐車場、6km西尊院信号付近。山頂で障害物なしで見ることができます。

※その日の気象状況によって異なりますが、市内では霧(ガス)がかかった状態でも、山上では霧(ガス)の上から太陽が見える事がよくあります。

金環日食を見る際の注意事項

肉眼で直接太陽を見ると、たとえ短い時間であっても目を痛めてしまいます。また、下敷きやCD、フィルムの切れ端、すすをつけたガラス板、サングラスやゴーグルなどを使って太陽を見るのもいけません。見た目ではあまりまぶしく感じなくても、光の遮断が不十分なものや、目に有害な波長の光を通しやすいものがあり、気づかないうちに網膜を損傷してしまう危険性があります。

望遠鏡や双眼鏡は、太陽の光や熱を集めて強くするため、肉眼で太陽を見る以上に危険です。

詳しい知識がないまま中途半端な方法で太陽を観察すると、目を痛めたり、最悪の場合失明したりする危険性があります。詳しくわからない場合には、自己流の方法を試したりせず、必ず専門家の指導に従ってください。